

前線による大雨について

土砂災害、低い土地の浸水、
河川の増水や氾濫に警戒

<ポイント>

前線が東北地方に停滞し、活動が活発になるため、16日にかけて大雨となる所がある。

警報級の大雨の可能性が高い。

前線による大雨について

雨が強まる前に

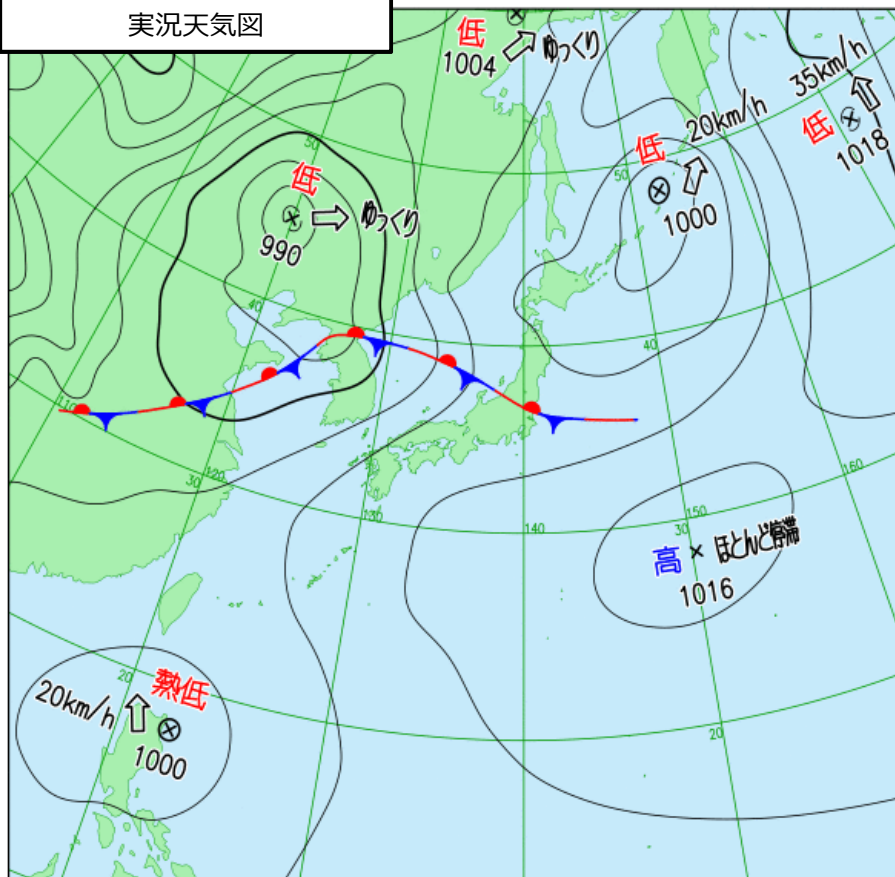
防災体制設置や避難情報発令作業の手順確認

ハザードマップ等の再確認に関する呼びかけ

避難に備え、自らの避難行動を取る呼びかけ

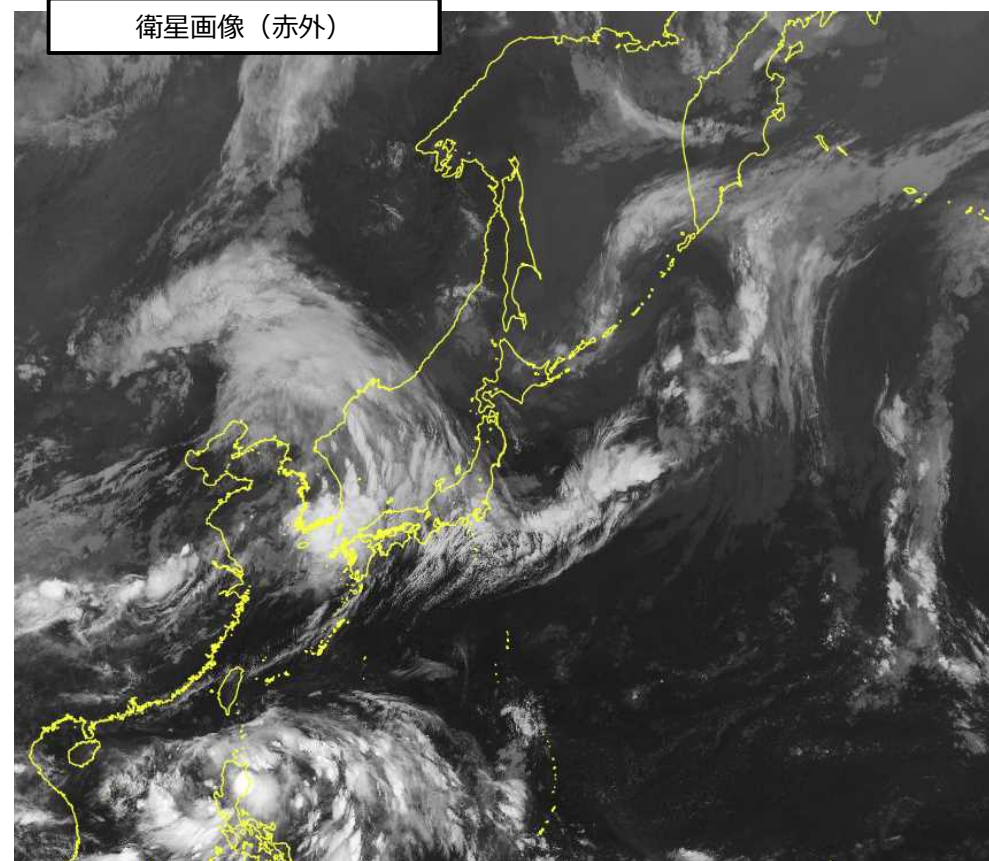
地上天気図と衛星画像

実況天気図



実況天気図 (7月14日06時)

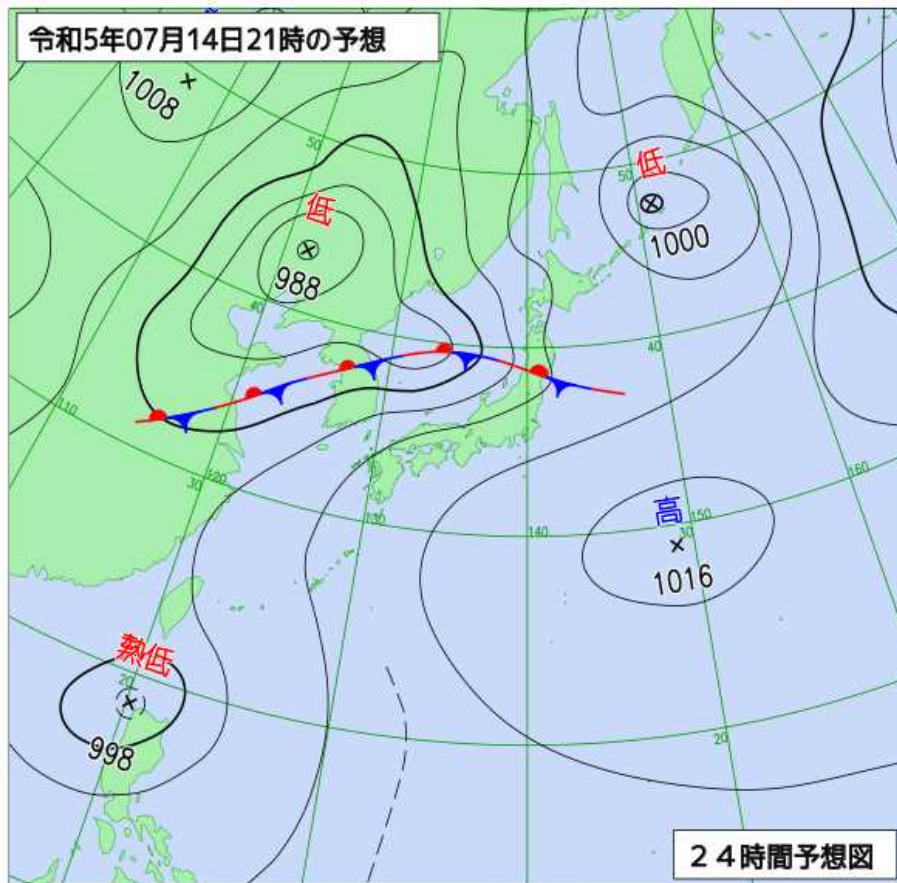
衛星画像 (赤外)



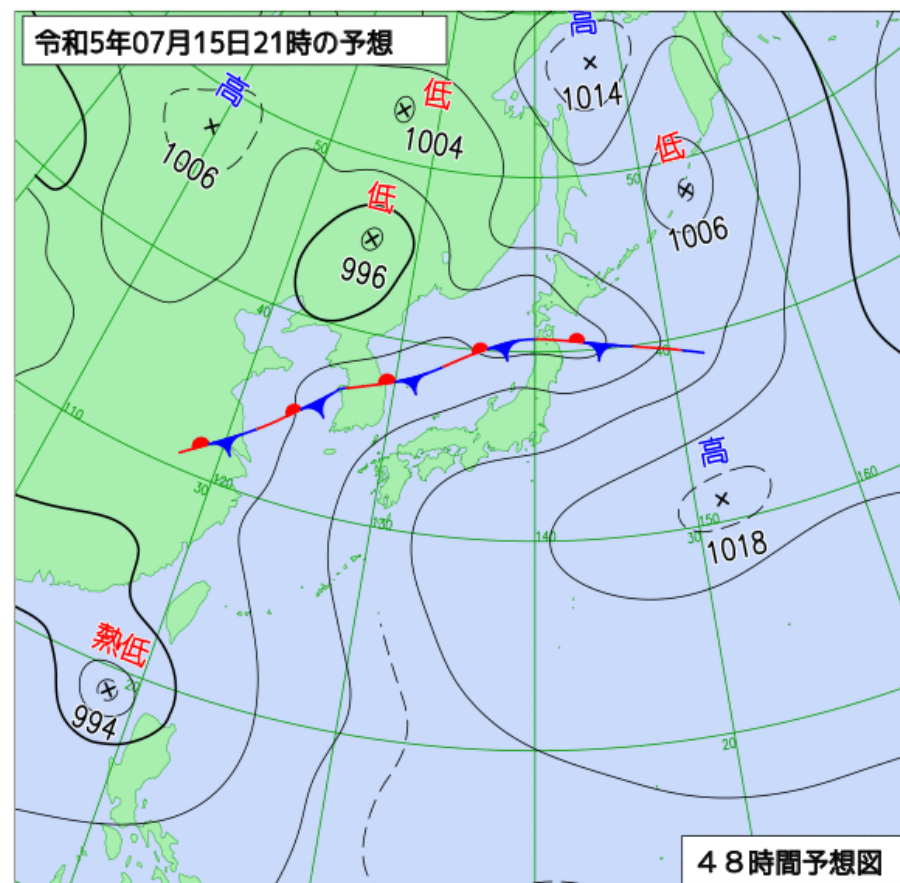
衛星画像 (赤外) (7月14日06時)

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.ima.go.jp/bosai/weather_map/)

予想天気図



予想天気図（7月14日21時予想）



予想天気図（7月15日21時予想）

今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

警報級となる可能性のある期間

雨や風が強まってからの避難は危険。早めの対応を

秋田県沿岸		14日(金)		15日(土)		16日(日)	17日(月)	18日(火)	19日(水)
		12-18時	18-24時	00-06時	06-24時				
大雨	警報級の 可能性	—	[高]	[高]	[高]	—	—	—	—
暴風	警報級の 可能性	—	—	[中]	—	—	—	—	—
波浪	警報級の 可能性	—	—	[中]	—	—	—	—	—
秋田県内陸		14日(金)		15日(土)		16日(日)	17日(月)	18日(火)	19日(水)
		12-18時	18-24時	00-06時	06-24時				
大雨	警報級の 可能性	—	[高]	[高]	[高]	—	—	—	—

[中] 可能性がある [高] 可能性が高い

今後の雨の予想

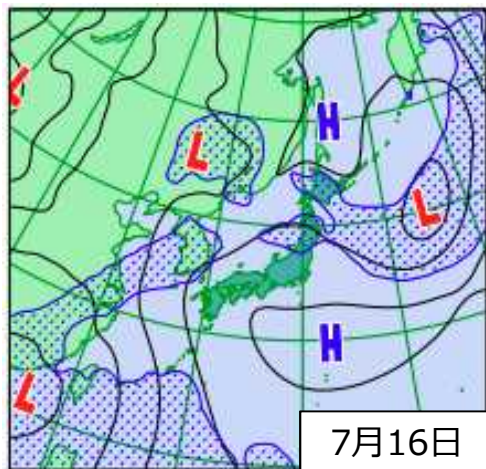
【大雨の見通し】24時間降水量（単位：ミリメートル）

秋田県	15日12時までの 24時間雨量	16日12時までの 24時間雨量
沿岸	120	100~150
内陸	120	100~150

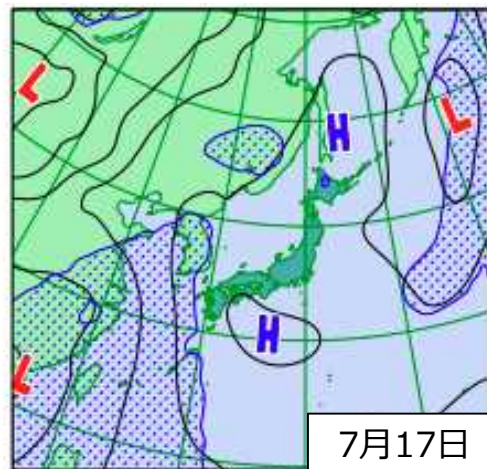
今後の予想を含めた最新の情報は気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（気象情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>）



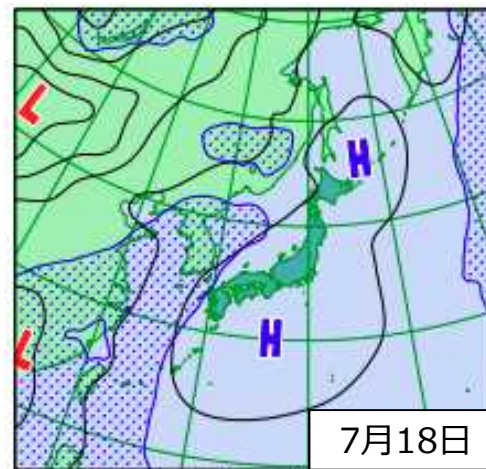
今後1週間の見通し



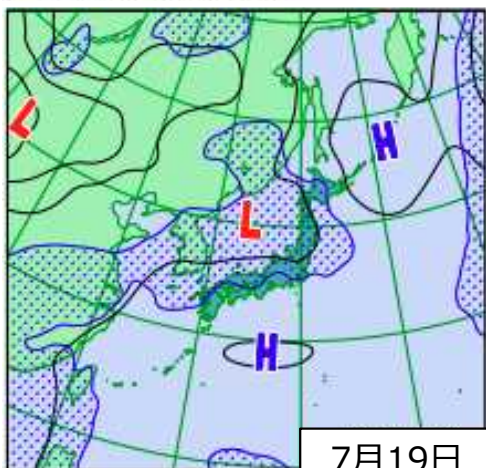
SURFACE PRESS. PRECIP(48-72)



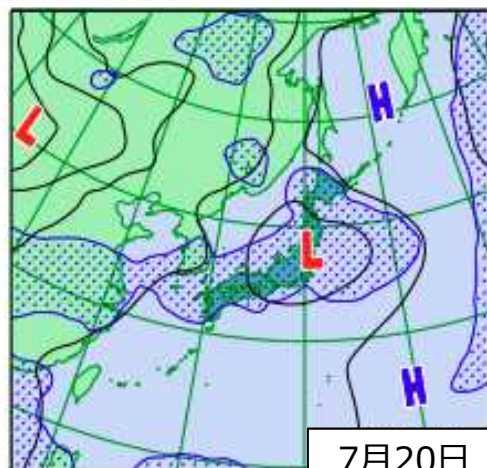
SURFACE PRESS. PRECIP(72-96)



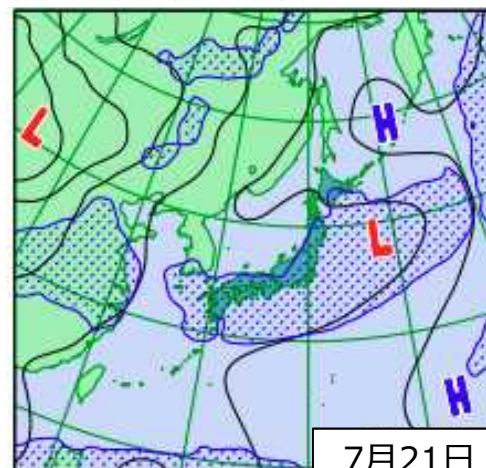
SURFACE PRESS. PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS. PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS. PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS. PRECIP(168-192)

※ハッチ域は
降水が予想される地域

<ポイント> 晴れる日もあるが雲が広がりやすく、16日と期間の終わりは雨の降る日がある。

(参考) 令和4年8月8日から15日の大雨

- 鹿角で、24時間に263mmを観測するなど北秋鹿角地域や能代山本地域、秋田中央地域を中心に大雨となった
- 五城目町、三種町、上小阿仁村などで河川が氾濫し、床上・床下浸水、鹿角市、由利本荘市などで土砂災害が発生した

被害の状況

死者なし、負傷者なし
住家半壊2棟、一部破損6棟
床上浸水98棟、床下浸水273棟
河川氾濫10河川、土砂災害15箇所
(秋田県災害警戒部取りまとめ資料 第11報)

三種川の氾濫状況



(秋田県)

当時の降水量 (8日00時～15日24時までの降水量)

地点名		最大 24時間降水量	最大24時間降水量の 極値順位
		mm	(通年)
鹿角	(鹿角市)	263.0	第2位
八森	(八峰町)	202.0	第1位
五城目	(五城目町)	180.5	第2位
脇神	(北秋田市)	176.5	第2位
大館	(大館市)	164.0	第1位

※R4.9時点の記録

秋田地方気象台 秋田県の顕著な気象事例
(<https://www.data.jma.go.jp/akita/data/saigai/saigai.html>)

大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

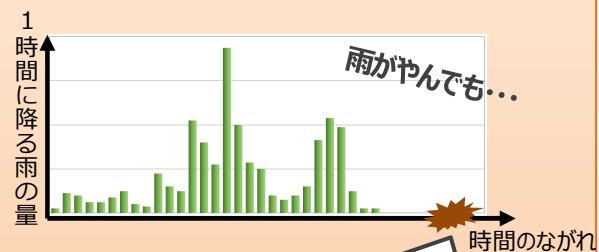


大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

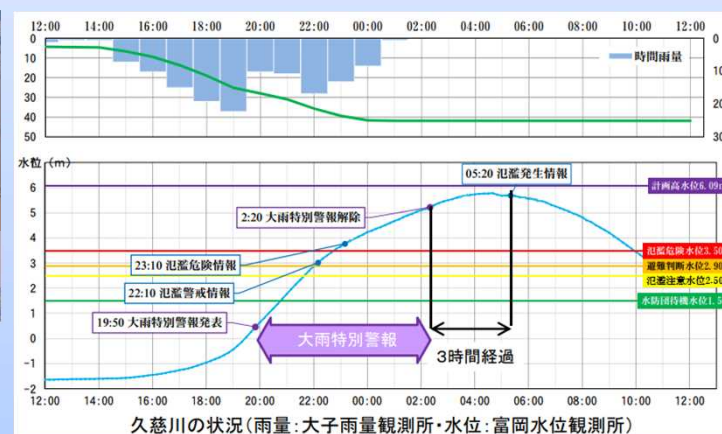


土砂災害が発生！



油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



@JMA_bousai

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<https://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>